

幌延深地層研究計画「令和３年度調査研究成果」報告会 挨拶

令和４年７月１９日

幌延深地層研究センター所長 柴田 雅博

- 幌延深地層研究センター所長を務めております柴田と申します。
- 本日はお忙しい中、幌延深地層研究計画「令和３年度調査研究成果」の報告会に足をお運びいただきまして、誠にありがとうございます。
- まずは、常日頃より当機構の業務につきまして、ご支援・ご協力を賜りましておりますことに、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。
- 令和３年度の成果につきましては、本年４月の「令和４年度調査研究計画」の説明会におきましても、その概要についてご説明致しましたが、今般、成果報告書にとりまとめましたので、本日は、改めて、昨年度の成果についてご説明させていただきます。
- なお、令和３年度も着実に成果をあげ、計画どおりに調査研究が実施できております。これも、ひとえに幌延町を中心とする地域の皆さまのご理解、ご支援の賜物と深く感謝いたしております。
- 本日の報告会では、昨年度の成果からいくつかのトピックにつきまして、研究を担当している若手の研究者から報告させていただくことと致しました。
- 私どもが実施している研究について、皆様のご理解が得られるよう、なるべく分かりやすく皆さんにお伝えしたいと考えているところですが、至らない点多々あるかと存じます。忌憚のない、ご質問、ご意見をいただければと考えております。
- いずれにいたしましても、機構の事業の実施においては、幌延町および北海道との間で取り交わした三者協定が大前提ですので、「放射性廃棄物を持ち込まない」、「研究が終わったら地下の施設は埋め戻す」といった約束をしっかりと守りながら公明正大に、かつ最大限の成果が得られるように進めていければと考えています。
- 今後とも、安全を第一に情報公開を徹底させながら、着実に研究開発を進めていきますので、引き続き、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げ、私からのご挨拶とさせていただきます。